適合アダプター

NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
0	Thermometer
1	Pressure Testing Pump With Gauge
2A	Connector R123/R124(Black color)
2B	Connector R123/R125(Blue color)
3	Mercedes Benz(W123・W126・W124・W201) GM(Buick) Jeep
4	Peugeot Subaru Chrysler Acura GM (Nova, Spectrum, Sprint) Mitsubishi Nissan Mazda Toyota Infiniti GEO Suzuki Isuzu Mercedes Benz
5	Honda Toyota Suzuki Mitsubishi Chrysler Acura Lexus

NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
6	Mercedes Benz (ML-class・W163・W164)) GM(achiva・skylark・gramd am-1992~2002)
7	Volvo Saab Sterling Citroen Renault Fiat Alfa Jeep Mini
8	VW(Vento・T4・Passa-1996・Golf・Beetle・Sharan)
9	Audi (A4・A5・A6) BMW 345 VW (Passa-1997~2002) Porsche (Cayenne)
10	BMW (E46・E36・E34・E39・E38・E32・E90)
11	Audi VW
12	Ford Mondeo International Land Rover Opel Ssangyong motor
13	Mercedes Benz (C-class・E-class・S-class・W140・W220・W124・W210・W211・W215・W216・W221・R230)
14	Ford Mondeo,Focus,C-MAX03
15	Mazda(M3)
16	Mercedes A-class (W168)
17	BMW E60, E63,E64, E65
18	VW SHARAN 1.8T2.8
19	TOYOTA-RAV4, PREVIA
20	SAAB

御使用時は必ずエンジンが完全に冷えた状態で御使用ください。
エンジン及びラジエターが熱い状態では使用しないでください。
ヤケドの危険があります。

1.ラジエターのキャップを開け適合するアダプターを選択し取り付けます。

2.手動ポンプとアダプターを接続します。

3.ポンプで加圧します。(圧力は各車輌の修理書の指示圧力に設定してください。)

4.圧力を保持させた状態にしておきます。圧力が低下する場合ラジエター等
冷却システムに漏れがある可能性があります。

5.テスト終了後、ホース先端の排圧弁のボタンを押して圧力を抜き、メーターが
0になるのを確認してアダプターを取り外してください。
(降圧時、排圧弁より水が出る場合はしばらく待って排圧してください。

6.使用後はポンプとアダプターを接続した状態でポンプとホース内を清掃して
ポンプで加圧して内部の水分を排出してください。

7.清掃後に毎回ポンプ先端にグリス補充用の穴がありますので、そこから
ラバーグリスを収入してピストンを潤滑させてから保管してください。

キャップテスター

ラジエータキャップの2Aか2Bのアダプターを使用して3、4、5の
アダプターと同タイプのキャップの作動テストが出来ます。
テストしたいキャップと組み合わせて圧力テストしてください。

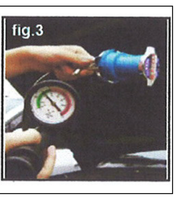
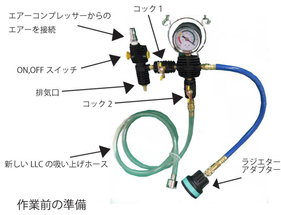


fig.3

クーラントチェンジャー　取扱説明書



※エンジン及びラジエターが熱い時は
絶対に作業しないでください。　やけどをします。
十分に冷えた状態で作業してください。

使用時は、エアーコンプレッサーのエアー圧を
0.6～0.8MPa（6～8K g f/cm²）でご使用ください。
エアー圧が高いとラジエターを破損する恐れがあります。

使用する車輌のホース類の劣化が
ひどい場合は破損する場合があります。
御使用をお止めください。

作業前の準備
車輌のラジエター内の冷却水はドレンコック等より完全に抜いた状態てください。
抜き終わったらドレンコックは閉めてください。
新しく注入するＬＬＣをお手持ちのバケツ等に多めにご用意してください。

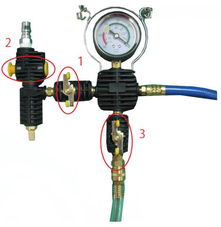
冷却システム内の真空引き
1）車輌のラジエターのキャップ接続部分に適合する
キャップアダプターを選択してください。
※ラジエターのリザーバータンクへ接続されているホースから
エアーを吸い込む場合はホースピンチャー等でホースを閉じてください。

2）本体に新しい LLC 吸い上げ用ホースを接続します。
本体の青色のホースに選択したアダプターに接続します。
エアーの接続前にコック１とコック２を
左の写真のように閉じてください。
ON,OFF スイッチを OFF にしてください。

3）エアーの接続前にコック１とコック２を
左の写真のように閉じてください。
ON,OFF スイッチを OFF にしてください。
車輌のラジエターにアダプターを接続します。
新しい LLC 吸い上げホースの先端を新しい
LLC を入れたバケツに浸します。
（途中でエアーを吸わない用にしてください。）

4）コック１を開きます。
エアーコンプレッサーからのエアーを接続します。
ON,OFF スイッチを ON にしてください。
ラジエター内の空気を吸い上げて真空にして行きます。

※負圧計の針がぶれて針が上がらず真空状態にならない時は、
本体接続部がしっかり密着しているか確認してください。
エアーを吸って真空になっていません。
車輌のラジエターのドレン及びホース等が外れていないか
確認してください。冷却システムにクーラントの漏れが
ある時も真空になりません。



5）負圧計の針が 20 ～ 25inHG に達したら
コック１を閉めてください。次にスイッチを OFF
にしてください。次にゆっくりとコック２を開きます。
バケツ内の LLC を吸い上げてラジエターに注入します。
空気が混入しないように注意してください。
空気を吸った場合、初めからやり直しになります。

※クーラント注入中に吸い上げ部分が
クーラント液に浸かっていないと
システム内にエアーが混入します。
エアーが混入した場合は、初めからやり直して下さい。

6）メーターが正圧（0）になったら、クーラントの注入は完了です。
完了後コック２を閉めてください。コック１を開いて
残圧を開放してから本体をラジエターから取り外してください。